

# Hitsujigaoka

会報 羊ヶ丘

Vo1.70

2011.10.31



ライオンズクラブ国際協会 331 - A地区

第2R・第2Z

札幌羊ヶ丘ライオンズクラブ



入場行進前の緊張する一瞬



L高柳を先頭に、いざ入場



勢揃いした選手たち



会長L照沼の挨拶



盲導犬協会和田所長とサマー



前年優勝チーム優勝旗の返還



ガバナーL庵原の始球式

## 第15回札幌羊ヶ丘LC旗争奪少年軟式野球大会開会式

2011.9.18

子供たちの笑顔と歓声を

事務局員 見角 直美

9月18日、札幌メモリアルグラウンドにおいて第15回札幌羊ヶ丘ライオンズ旗争奪少年軟式野球大会が行われました。

台風の影響で天候に不安がある中、地区ガバナーL庵原宏章をお迎えし参加23チーム総勢600名で開会式を盛大に執り行うことができました。

当クラブのバナー旗を先頭に選手が入場し、クラブ幹事L山崎の開会宣言の後、前年度優勝の伏古わんぱくボーイズから優勝旗・カップの返還がされると、昨年の優勝を労うように大きな拍手が起こりました。

今年、優勝旗を手にするチームはどこでしょうか。熱戦の火蓋が切られるのは目前です。

続いて、この大会の運営に多大なご協力をいただいている札幌はまなす少年軟式野球協会の会長であり、当クラブの元会長L上西より、子供たちの元気いっぱいの好プレーに期待しますと激励の挨拶がありました。

名誉大会長であるクラブ会長L照沼、そして地区ガバナーL庵原宏章から来賓挨拶をいただく頃には小雨に見舞われる空模様となりましたが、ガバナーL庵原宏章の凛とした大きな声を整列する少年少女たちは緊張した面持ちで耳を傾けていました。L庵原ガバナーには始球式も担っていただくとともに、最後まで熱心に子供たちのプレーを観戦いただきました、この誌面をお借りして厚く御礼申し上げます。

当日は北海道盲導犬協会の所長 和田孝文様と盲導犬サマー（女の子）にも参加をいただき、クラブが毎年継続して行っております「ミーナの募金箱」に募金致しました。

子供たちが実際に盲導犬を目にし、協会のお話を聞くことによって、盲導犬育成募金への協力と盲導犬普及啓発の一助になればと思います。

最後に、この開会式において札幌はまなす少年軟式野球協会の父兄の皆様から17万枚もの使用済切手、書き損じハガキ、使用済テレカの寄贈をいただきました。厚く御礼申し上げます。



新調した旗を掲揚



応援にも熱がこもる



献血呼びかけをする新旧会長

### 少年軟式野球大会閉会式

2011.9.25

今年で15回を数える少年軟式野球大会の準決勝・決勝と閉会式が9月25日、例年通りつどーむで開催されました。

今大会は開会式が9月18日で翌週には決勝と、日程的にもかなりタイトなものとなりました。運営された札幌はまなす少年野球協会関係者の皆様の苦勞が伝わってきます。当クラブ主催と銘打っているが、毎回運営は協会任せでは偉そうな顔ができないのではないかと反省しつつ今年も同じ思いを抱き閉会式に臨みました。

決勝は、熱戦が展開され小樽幸ファイターズが優勝しました。歓喜の表情を見せる選手たちの顔が印象的でした。日頃の練習の成果が実ったことに祝福の拍手を贈りたいと思います。

会場の外では移動献血車「ひまわり号」による献血が行われておりました。私たちも交替で選手の父母の方、指導者に献血協力の呼びかけを行いました。その結果、58名・23,200mlの献血をいただきました。ありがとうございました。

例年に比べると少ないようですが、献血受け入れが実質的に400mlに一本化されたためと思われる。献血量が不足しているとPRしていても、現場では違った対応をしていることに違和感を覚えました。日赤は、もう少し知恵を出すべきでしょう。

当日は開会式に続いて、盲導犬協会の和田所長と盲導犬サスケが出席されました。おそらく初めて触ることになる盲導犬に子供たちは目を輝かせていました。その都度、盲導犬の役割を説明する和田所長も手応えを感じられたのではないのでしょうか。

表彰式では、それまで献血会場やギャラリー例会が行われた控室から会員が集まってきました。何しろ選手たちに渡す賞品が次から次とあるのです。全員参加で手渡さないと間に合いません。また、この時が私たちの唯一の参加と認識できる時間でもあるのです。ここでは、熱戦を繰り広げた選手同士がお互いの健闘を讃えあい、笑顔で表彰の品々を受取っています。私たちクラブ員も子供たちの握った手の温かみを忘れることはないでしょう。

毎年行われる少年軟式野球大会ではありますが、新しい変化が読み取れます。この大会が始まった頃は珍しかった女の子が、今や普通に参加し活躍しています。以前はスポーツの中でも、男性専用の競技と思われていたものでも女性の参加が目覚ましくなっています。なでしこジャパンが好例と言えるでしょう。これからも男女を問わず多くの子供たちが参加する大会に育て上げたいと思っています。



熱戦



盲導犬と触れ合う子供たち



優勝旗の贈呈、おめでとう



ZCP L後藤の挨拶



会場に集まった参加メンバー



はまなすの父母会も応援



中央署・塩入統括官の挨拶



交通安全アピール



クラブ横断幕も目立たせて



全員で記念撮影

## ライオンズデー交通安全アクティビティ

2011.10.8

10月8日のライオンズデーには、今年も私たちはススキノ交差点で交通安全の啓発活動を行いました。開始に先立ち札幌中央警察署交通課の塩入統括官から北海道の交通事故の現状について説明をいただきました。10月7日現在で交通事故死者数は130人、昨年に比べ19人減っているとのことでした。

その後、追跡調査したところ10月20日現在では142人に増えています。現在、全国ワースト6となっています。これから冬型の事故が増えていきます、大多数の会員は毎日運転されていることでしょうから、明日は我が身と思い注意を怠らないことが肝要と言えます。

当日は、はまなす少年軟式野球協会父母会の皆様にも参加していただき、啓発運動を盛り上げました。

ススキノ交差点は、夜はともかく日中は割と交通がスムーズに流れる地点ですが、それでも電車の軌道で狭くなる部分に強引に割り込む車があります。また、当日は土曜日であったため横断歩道を行き来する歩行者も多くいましたが、渡っている歩行者を脅かすような運転をする車も見かけました。

このような状態をみると、運転マナー以前の問題があるような気がしてなりません。長い年月運転していると、教習所で習った基本的な心構えが忘れ去られているのではないのでしょうか。もう少し、ゆったりとした気分で運転すると事故が減ると思うのは私だけではないでしょう。

また、今年は各種報道でも取り上げている通り、自転車の事故が多発しています。それも重大事故が多くなっています。自転車の運転環境が整備されていない事を指摘する人もいますが、事故が発生すると辛い思いをするのは当事者です。運転に際しては、自動車も自転車も注意を怠らない一点に尽きます。



上西の主旨説明



はまなす少年野球チーム



会長 照沼の挨拶

豊平川河川敷清掃

2011.10.9

前日の交通安全呼びかけアクティビティに続く連日のアクティビティが10月9日行われました。年に一度は行っている豊平川河川敷の清掃活動です。本来は、札幌はまなす少年軟式野球協会の親善ソフトボール大会なのですが、当クラブ員の健康と年齢を考慮し、そちらの方は協賛会費のみの参加にとどめました。

また、この清掃活動は福岡ソフトバンクホークス会長王貞治さんが呼びかけた第5回ふるさと清掃運動会への協賛参加の形もっています。

午前7時半にクラブ員有志が集合し、少年野球の子供たちと清掃活動を始めました。9月初めの台風で増水した影響がまだ収まらず、川の流れは相当に早くなっています。河川敷は札幌市で大きな漂着物について片付けたようで例年のごみ拾いと言った感じでしょうか。

サケが遡上し、夏には花火大会が催され札幌市民が心の拠り所とする豊平川が洪水に意外に弱いことを知っていますか。

札幌市のシミュレーションによれば、降り始めからの雨量が310ミリで幌平橋左岸辺りから破堤する予測をたてています。それによると、創成トンネルは水没し、ススキノ周辺も水浸しになり、地下鉄東豊線も水没し、停電します。24時間で下流域の茨戸付近まで洪水が押し寄せると言っています。

9月6日の雨量は250ミリでしたので実は危ない状況だった訳です。昭和56年にも氾濫したことを記憶している方もいると思います。その当時に比べると、札幌市域は拡大し、地下施設も多くなりました。常態となった異常気象のため、ゲリラ豪雨が発生する危険は何処にでもあります。あんな高い堤防のある豊平川は大丈夫などと思わない事が肝心です。それに、この川は日本有数の急流河川です。源流



流れに取り残された流木

の定山溪と豊平橋付近の高低差は150m位あります。大雨に見舞われると一気に流れ落ちる危険な川であることを忘れないください。また、上流にはダムがあるため、ダムに溜まった水を放水するため、いつまでも水位が低下しません。10月になっても豊平川の水量が減らなかったのもこのためです。



さあ、清掃開始



豊平川の流れ・こんなに早い



久しぶり 山田（右）



台風の忘れ物

## 25年の歴史に感謝し、新しい未来へ創造の前進



積丹の海岸線・絶壁、奇岩



岬へのダラダラ道を歩く



女人禁制の門、心してくぐれ



見えたぞ、積丹ブルー



眺めに魅入り一休み



ふじ鮨での楽しい昼食会



名物うに鍋

### 暑中家族会

2011.8.6

8月6日、暑中家族会が行われました。行先は積丹です。何度も行って、積丹・古平・余市は俺の庭と同じと言う人もいれば、北海道に住んでいながら、積丹は初めてと言う人もおられます。様々な思いと期待を乗せて、この日のためにチャーターしたバスは札幌パークホテルを出発しました。

札幌を出るときは曇りがちだった空も、目的地に近づくにつれ青味が増してきます。積丹に着くころは快晴となりました。途中、1996年2月の豊浜トンネル崩落事故犠牲者の慰霊碑に花を手向け神威岬駐車場に到着です。

女人禁制の門を抜け、神威岬を目指して歩きます。札幌を出て2時間以上経過し、昼食の予約時間に間に合うか時間との闘いです。アップダウンの多い細い道です、突端まで行けるのでしょうか。

さて、女人禁制と言われる場所は日本国内に数多くあります。有名な処では大峰山や高野山があります。高野山は明治の初めに女人禁制が解かれています。大抵は信仰的な理由なのですが、この神威岬は義経伝説に基づくものです。

奥州で生き延びた源義経が蝦夷地で、日高のアイヌの娘と恋仲になった。その娘がこの岬まで義経一行の後を追ってきたが、既に義経は出発してしまっていた。娘は悲しんで海へ身を投げ、神威岩になったという。この娘の怨念が、女を乗せた船を転覆させたことから、岬一帯が女人禁制となったとされる。

また江差追分にも、「忍路高島およびもないが せめて歌棄磯谷まで」とも歌われ、ヤンシュウを追った女たちが、女人禁制の神威岬の先にある忍路や高島は無理でも、手前の歌棄や磯谷辺りまでは連れて行って欲しいとの思いを込めている。

そのような女性たちの感傷に浸る間もなく、集合の合図とともにバスに戻り、次なる目的地・ふじ鮨本店を目指します。ここでは思い思いの料理を注文し本場の味を堪能しました。やはり回転ずしで食べる味とは違います。うに鍋も美味しかった。

積丹ブルーと呼ばれる海と空。そして普段は味わうことのできない、舌がとろける絶品の海の幸。今年も大いに楽しませて頂きました。実行委員長の幹事 L 山崎に大感謝です。

来年の暑中家族会が今から楽しみです。



## 25年の歴史に感謝し、新しい未来へ創造の前進



決算報告をする前全会計 L 山崎



報告に聞き入る会員



資料の性差も怠りなく

### 決算報告例会

2011.8.23

いつもは7月第2例会で行われる決算報告ですが、今年はガバナー公式訪問が7月に早まったため、1カ月遅れの決算報告例会となりました。

場所は、クラブ会議室です。決算報告にふさわしく費用縮減の思いが感じられます。会長挨拶のあと、前会計L山崎から決算報告が発表されました。会員増が思うに任せない現状で、運営の柱となる会費収入は減少してきています。それでいて、経常的な経費の減少は僅かで苦しい台所事情です。我が国財政の極縮小版とでも言えるのかも知れません。今年度は25周年の式典を控える節目となる年です。当初予定していた積立金は赤信号手前の状態に近づきつつあります。

決算報告が満場一致で承認されると、他の討議に移ります。今年の少年軟式野球大会の日程、暑中家族会の決算報告の発表が行われました。

少年野球大会に関しては、大会期間中に会場に掲げる旗を新調し寄贈することが決定されました。日章旗・はまなす協会旗の2つです。さらに、数々の行事イベントで使用された当クラブの旗も併せて新調することとしました。

今年の第15回大会では、新しくなった3つの旗が大会期間中ずっと子供たちの元気な姿を見守ることになります。

次いで25周年行事について熱い討議が交わされました。実行委員の陣容、会場、招待予定者、記念アクティビティ、記念誌等々。ああでもない、こうでもないと果てる処を知りません。小鳥のさえずりなら聞き惚れる価値があるのでしょうか、まさにライオンの咆哮。例会の始まる前に食事を済ませたため、食後の茶飲み話に発展していきます。

頃合いを見て司会の幹事L山崎が次のテールツイスタータイムへと誘導していきます。L上西が、今までにも増して張り切って大音声でドネーションを読み上げます。クラブ内で数々の役職を担ってきた彼ですが、その時々に応じて最適と思われる振る舞いが見られました。このテールツイスターだけは、まさに最高の役どころと言った感じで毎回参加者を楽しませてくれます。最初から最後まで爆笑の渦でした。この熱演の効果があつたのか、参加者が少なかったにも拘わらず集まったドネーションは6万1千円となりました。様々な活動に有効に遣われることでしょう。

第25期が始まって既に2か月が経過しました。これで、前期の報告等に関する事項は終了となります。来月からは本格的な活動が始動されます。会員の皆様も忙しくなります。ご協力の程お願いします。



ウイ・サーブの発声はL菅原



全員でウイ・サーブ



テールツイスタータイムL上西



閉会のロアー

わア～！ニューヨーク 初めてのアメリカ旅行

井上 定幸



広いグランドセントラル駅



ユニクロのゴミ箱



タイムズスクエアのネオン



ロックフェラーセンター

ナナカマドの実が色づき始めた9月11日から9月22日まで、仕事を放りだしライオンズの事も忘れニューヨークへ家族を伴って行って来た。戻ってきたとき、出がけに眺めたナナカマドは実も葉っぱも真っ赤に染まっていた。

私と家内は勿論ニューヨークはテレビでしか見たことがない。なんと同行した息子はすねかじりのくせに3回目。ガキにばかり良い思いをさせてなるものかと思いついた旅行であった。それに、向こうへ行けば可愛い孫の顔も見れる。10月になると、寒さは北海道以上になる時もあると聞いた。この時を逃したら、冥途の土産話もできないとばかり、強引にチケットの手配をしてしまった。

結果的に、これが良かった。帰ってきてから、ウォール街で経済格差の拡大や雇用不安・失業に反発する若者たちのデモが頻発した。

そんな訳で、僅か10日行っただけでアメリカの事が分かったような旅行記をまとめた。行く先々で日本と比べてしまう。「こんな筈じゃない」と言っただけそこはアメリカ。自分の意のままにならない。多分、日本に来た米国人は同じように「Oh my God!」と言うに違いない。

いざ、NY

9月11日、自宅を陽のあがらないうちに出る。新千歳空港発7:50NH2152全日空の飛行機。成田で乗り換えてニューヨークJFK空港へ向かう。通路の反対側は国際線なのに、何故成田経由なのだ。ここから直行すれば3時間は時間の節約ができる。

そんな不満を抱いていると早速第1のトラブル。息子の荷物が重量オーバーで超過料金がかかると言う。一部を機内持ち込みにするか、別の鞆に入れるように指示される。カウンターで他の旅行客が見ている中、大きなカバンを2個開き詰め替え作業をする。家で重さを計ってこなかったのか、ヘルスマーターがあるだろう。あれは母さんの専有物ではないんだ。

何とか搭乗し、成田での乗り換えもスムーズに行った。ニューヨークまで13時間、到着は現地時間11日11:45。ケネディ空港では迎えのリムジンが待っていた。我々が想像する胴長の高級車ではなく、日本で言えばハイヤーのような感じ。それでも黒塗り革張りのキャデラック。初めて乗るキャデラック、偉くなったような気がした。

コネチカット州の長男の家までリムジンで行き、荷物を置いて直ぐに今度は電車でマンハッタンへ向かう。到着駅はグランドセントラル駅。重厚な造りのうえ、でかい。早速、映画「アンタッチャブル」のラストシーン乳母車が落ちる階段を探す。幾つもあるので、よく分からない。

最初に行ったのは、タイムズスクエア。大晦日のカウントダウンが行われる処、正面のネオン、かつては日本企業で占められていたのだが今や韓国企業の独壇場となっている。日本に居た時よりも悔しさが募る。悔しいのでSONYのネオンが出るまで待って写真を撮る。

ブロードウェイを通り、5番街をチョットだけ見る。マリーの家を探したが当然のことながら見つからない。

ロックフェラーセンターに行き、黄金のプロメテウス像の前で記念写真を撮る。我々のような観光客で一杯で、撮影スポットは順番待ちであった。ここも以前三菱地所が買収し、ジャパマンデーによるアメリカ買いと言われたところ。それが今や中国と日本との関係のように見える。このロックフェラーセンタービルは現在ではGEビルとなっている。

ニューヨーク第一歩は、日本の昔日の栄光を思いやり、悔しい気分になったものだが「オッ」と思えるものを見つけた。グランドセントラルのゴミ箱がユニクロのラッピングがしている。5番街に10月14日に新店したユニクロ旗艦店の開店広告だった。このニュースを帰国後見て、初めてあのゴミ箱の意味を知った。

それにしてもニューヨークは警官とゴミ箱の多いところだ。日本では、爆弾テロを警戒



## 25年の歴史に感謝し、新しい未来へ創造の前進

して人が集まる処からはゴミ箱は撤去されている。テロ警戒の厳しいニューヨークで何故か、ドンドン通行する人がゴミを投げ入れるものだからすぐに一杯になる。すると、何処からともなく清掃する人間が現れる。多くは黒人だが、ゴミ収集し回りを綺麗にしていく。

きっと雇用対策なのだろうと勝手に早合点する。頻繁にゴミを収集し、危険物があれば警官がサッと駆けつける。何でも排除する日本とは少し違うと感じたゴミ箱、されどゴミ箱である。警戒しているはずの警察官、一人で居のを見たことがない。大抵二人でガムを噛みながらダボラを語っている。大丈夫なのかね、ホント。

世界経済の中心ウォール街を見なければニューヨークに来たことにならない。時間節約のためタクシーに乗る。日本と違ってドアは乗客自身が開ける。降りるときも同様。運転手は黒人やヒスパニックが多い、車内は汚い、ラジオは鳴らさばなし、運転は当然のことながら荒い。

ニューヨークは札幌や東京と違ってタクシーの台数が圧倒的に少ない。雲助まがいの運転手がいてもニューヨーカーは我慢している訳だ。昔の東京がそうだった。

その上、腹の立つことに支払いの時チップが必要。ガイドブックによれば(料金+消費税)×15%が適当と書いてある。

ハチャメチャな運転をされたうえに、中学の数学を思い出しながら計算してチップを渡さなければならない。こんなバカな習慣はやめた方が良い。

ニューヨーク証券取引所はテレビで見た通り、馬鹿でかい星条旗がかかっている。この旗は休日や夜間は仕舞われる。星条旗のかかっている証券取引所を始めて見たと息子が感激していた。

すぐ横にフェデラル・ホールナショナル・メモリアルがある。1776年7月9日にジョージ・ワシントンが独立宣言を読み上げた場所。中学か高校の世界史で習った事を思い出した。

ワシントンになった気分写真を撮っていると、中国人がシャッターを押してくれと言ってきた。同じ中国人に間違われたらしい。やけにおとなしい。彼等も一人の時は余り騒がないのが分かった。一人で騒いでりゃアホだわな。

それにしても、ニューヨークは人が多い。それも色んな人種が。何処に行ってもゴチャゴチャ居る。降り立ったときの印象は「雑踏」であり、眺める余裕ができたときの感慨は「混沌」である。これが、アメリカのエネルギーかと感じ入ったものだ。

早くしないと日が暮れそう。次なる目的地、グランド・ゼロに向かう。9.11の翌日だったので、厳戒態勢で近寄れないかと心配していたが、建設中のビルのすぐそばまで行けた。

今や観光名所となってしまった感がある。ここで、あの連続爆破テロがあったのかといつまでも工事中のビルを眺めていた。

建設中のビルはフリーダムタワーと当初呼ばれていた地上541mの超高層である。名称変更は、犠牲になったのはアメリカ人ばかりではないと犠牲者家族から批判が噴出したためとされている。

新名称はOne World Trade Centerと素っ気ないものとなった。完成は2013年頃とされているが、工事の遅れが懸念されている。

ビルの高さを541mとしたのは、アメリカ独立の年に因んで1776フィートとしたため。こんな処にもアメリカ流のこだわりが見える。

長男から電話がきて、ニューヨークの夕日を見せると言う。彼の会社が入っているビルに向かう。後ろについて、ビルに入るとの大きな黒人の警備員がいる。身分証明書を見せると言っているらしい。パスポートを渡すと、全員の顔と見比べている。

悪いことをしている訳でもないのに、背中に冷や汗が走る。従業員の家族だと説明するとニコツとして通してくれた。

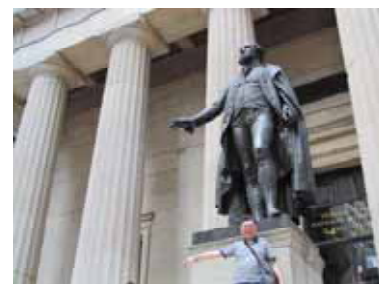
マンハッタンビルは全てこうした警備をしていると言う。入口は全部自動改札のようになっていて、IDカードで開くようになっている。日本はおおらかなものだ。

黄昏どきのニューヨークも、なかなかのものだ。摩天楼が夕陽を浴びて輝いている。うっとりとする風景だ。これがニューヨークなのか。アメリカなのか。

To be continue



NY証券取引所の大星条旗



ジョージ・ワシントン像と



建設中のフリーダムタワー



ニューヨークの夕日

## 入会寄稿

L 堀岡 咲枝



今年の1月に札幌羊ヶ丘ライオンズクラブ入会させて頂き早や10ヶ月が経ちました。

例会への参加がままならない自分を照沼会長初め、幹事の皆さま、会員の皆さまにご指導頂き声を掛けて頂き、一つづつ行動させて頂いております。

最初に参加させて頂いたアクティビティは、雪祭り献血の呼びかけでした。照沼会長が模範を示してくださり、竹中Lが側に立っていてくださいました。安心し実行できました事を覚えております。

CN24周年記念例会では、思いもかけず祝賀会の司会を仰せつかり、緊張の連続で何をどう話したのか今も思い出せません。ただ、最初に抱いていた印象とは違い楽しい集いの場であることも実感させて頂いたと思っております。

また、地区ガバナー訪問例会が7月26日に開催され自分もその会場に身を置かせて頂きました。参加する事でライオンズクラブの歴史を学ぶ良い機会を頂きました。

第9回ライオンズクラブ国際協会世界大会でヘレンケラー女史がスピーチされて、その時の様子が紹介されました。そこからライオンズクラブのL CIFが発足されたと同じ更に理解をさせて頂きました。

入会させて頂く前は、ライオンズクラブさんは男性が多く参加されているので そのイメージは固く近づきたい印象が自分の中にはありました。



しかし、札幌羊ヶ丘ライオンズクラブへ入会させて頂き「奉仕」の意味を一つ一つ諸先輩の背中をみながら『慌てず、騒がず、諦めず』の精神で吸収させて頂いております。

まだまだ自分がライオンズクラブで「奉仕」をさせて頂くには、身の丈には合っていないのではないかと自分を見つめた時もあります。そう考えた時、先輩達はそれでいいよと導いてくださり自分ができる事をしなければ、ご指導頂いている先人に申し訳ないと思えます。

基本姿勢を教えてください羊ヶ丘ライオンズクラブに入会させて頂いて良かったと感じている今日この頃です。どうぞ変わらぬ、ご指導を賜りますよう宜しくお願い致します。



### ユキムシ&カメムシ

10月も20日を過ぎると、ユキムシが飛んでいるとの話が聞かれる。そろそろ、初雪が近いのかなと思う。既に大雪の山々は雪に閉ざされた。一方我が家では日当たり



の良い窓側にカメムシが大挙してきて往生している。何故今頃と思い調べてみた。カメムシは時期を問わず発生するらしい、今頃は暖かい場所を求めて移動する。実際にみたのは上の写真のような可愛いものではなく、茶色のグロテスクなやつ。一方左写真のユキムシは分類学上は、(カメムシ目ヨコバイ亜目アブラムシ上科) やっぱカメムシ。カメムシの大量発生する年は雪が多いと聞く。



### ホットスポット&パワースポット

福島第一原発の水素爆発以来、東北地方はもとより関東地域にまで放射能線量の高い地域が発見されホットスポットと呼ばれている。世田谷で大騒ぎしたホットスポットは原発には関係なく保管してあったラジウムが原因とのこと。我々コンピュータ屋の世界では、電波や磁界の強い部分をホットスポットと呼んできた。



一方で気力等を充実させてくれる場所をパワースポットと呼んでいるが、PowerSpotなる言葉は英語の辞書にはない。和製英語らしい。気力の源は磁力線だと尤もらしく言う学者もいる。札幌では、藻岩山もパワースポットの一つらしい。雪の降る前に一度訪れてみては。(ロープウェイは運休中12月オープン予定)

### 交通事故(前号の続き)

交通安全呼びかけの際に、中央署の統括官が言っていたが、今年では自転車の交通事故が多いと言う。

取り締まりを強化したから件数が上がった感はないが、気をつけるに越したことはない。ピストバイクなるブレーキが装着されていない自転車で走る若者が多いと言うが、俺の周りでは見ない。それより、無灯火自転車が恐ろしい、暗闇から突然飛び出されて肝を冷やした経験が何度もある。

### デロリアン

映画「バックトゥーザフューチャー」で使われたタイムマシンの自動車デロリアンを覚えているだろうか。朝日新聞によれば、電気自動車として復活すると言う。デロリアン社設備を引き継いだ会社が米EVベンチャーと協力して2013年に発売するとしている。途方もないと思える話を実際に進めるところがアメリカらしい。俺は、あの車は映画専用と思っていた。まさか市販車とは、そう言えば007のボンドカーだって、アストンマーチンやBMWの改造車だった。



### 南極大陸

日曜の夜、何となくテレビを見ていたら、ドラマ「南極大陸」をやっていた。昭和31年の話である。



ドラマでは誇張もあるが、当時の子供たち(即ち俺たち)の冒険心を呼び起こしてくれた。テレビも満足にない時代だったが、新聞・ラジオで連日動静が報道されていた。

南極大陸に接岸する日時を当てる懸賞があり、見事的中してゲルマニュウムラジオを買った記憶がある。小樽に寄港した「宗谷」を見に行った。それ程大きな船でなかった。青函連絡船の方が余程大きい。よくもこんな船で行ったものだと思ったものだ。

この後、東京タワーの建設、東京オリンピックと日本の高度成長時代の幕が開く。まさに夢の先駆けの事業だったのかも知れない。

### タイの洪水で日本車生産停止

日本車の生産が今度はタイの洪水で停まった。東日本大震災と今度の洪水、日本のものづくりには受難が続く。被害が拡大報道に隠れ、原因分析が遅れている。



最大の原因は、開発のため熱帯雨林を伐採したこと。工業化のために、自然に過度な手を加えるところ言った憂き目にあう。当然、工業化には日本の援助もあったはず。その中で森林伐採を提案した者がいなかったか検証する必要がある。

東日本大震災の復興にあたって、有効土地を拡幅するために山を削るなどと考えたら同じ目に会う。



## PR委員長がんばる

L 井上 定幸

今期の会報第2号です。9月中にニューヨーク旅行した関係で出席できない行事が幾つかありました。お詫び致します。

少年野球の開会式原稿は、事務局員の見角さんをお願いしました。快く引き受けてくれた上に、的確な記述で大変助かりました。ほぼ、同じ文章がエコー誌に私の名前で掲載されます。

ゴーストライターを引き受けたことは何度かありますが、お願いしたのはこれが最初です。

L堀岡からも入会に際しての心情を述べられた寄稿をいただきました。今後ともライオンズスピ

リットを十分に発揮して奉仕活動を充実されることと期待しています。

9月中の活動が中途半端になったお詫びとして、私自身のニューヨーク旅行記を掲載しました。会員の中には何度も行かれた方もいらっしゃると思いますが、ご自身の思いと比較されても宜しいかと思えます。

夏の盛りに始まった第25期も振り返ってみると、既に3分の1を消化し雪を心配する季節に差し掛かりました。冬を吹き飛ばす熱き想いが届けられるように、これからも頑張りたいと思えます。